



なな サポ



Vol.25
2020年12月

越谷市市民活動支援センターの愛称〈ななサポこしがや〉は、

- 活動の拠点 ●交流の場 ●市民活動の相談 ●学習の支援
- 情報収集と提供 ●文化の向上 ●観光・物産情報の提供

市民活動への7つのサポートを表しています

発行：越谷市市民活動支援センター 住所：埼玉県越谷市弥生町16-1越谷ツインシティBシティ4階、5階
URL: <http://koshigaya-activity-support.info/> Eメール: info@koshigaya-activity-support.info
市民活動支援センター/TEL 048-969-2750・FAX048-969-2751 中央図書室/TEL 048-969-1800
利用時間：午前9時～午後9時30分(図書室 午前9時30分～) 休所日：年末年始(図書室のみ休室日別途有)

特集



できることから

はじめてよう。

日本で新型コロナウイルスの感染拡大が始まってから9ヶ月が経ちました。今も終息の見通しが立たない中、新しい生活様式を取り入れた生活スタイルが習慣化しつつあります。一方で、人との距離を保つなど、感染防止対策を続ける毎日に疲労をおぼえる方も少なくないはずで。

市民活動団体においては、現在も活動を続ける方法を模索している方が多いのではないのでしょうか。前号では、新型コロナウイルスが市内の市民活動団体にどのような影響を及ぼしているのかに関するアンケート調査結果を掲載しました。今号では、このような状況下でも、いち早くオンラインの活用を試みたり、アナログだけれど温かく心をつなぐ方法で利用者とのつながりを大事にしたり、コロナに負けず活動している市民活動団体をピックアップし、お話をうかがってきました。

越谷Zoom寄席

実力派ぞろいの 社会人落語会

40代から70代までの幅広い年齢層で構成される「越谷市演芸協会」。

平成7年に越谷サンシティ落語研究会として発足して以来、主催落語会や出演依頼を合わせて毎年20公演以上を行うなど、市内の娯楽芸術文化の発展に貢献してきました。昨年9月に大阪で行われた「第11回社会人落語日本一決定戦」の決勝戦には同会会員が3名選ばれ、さらにその中から参遊亭遊若さんと若田部真紀さんが優勝すること

いう、実力派ぞろいの団体でもあります。

落語をやりたい！

学生時代に落語研究会に所属していたり、カルチャースクールや独学で学んでいたりと、入会前に落語の基礎を身に付けている会員がほとんどだという同会では、稽古は個別に行うスタイルをとっています。そんな会員の皆さんにとって、落語会は稽古の成果を発揮する場であると同時に、落語を



機材を前に演じる夢見家朝楽さんと山崎政吉さん

愛する仲間との時間を共有する機会でもあるそうです。しかし今年、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う公共施設やホールの利用停止により、落語会は中止せざるを得ない状況になりました。



(Zoom寄席)の視聴画面/この日は金沢から夢見家春木さんと上田正樹さんが出演しました

再開の見通しが立たない中、それでも「集う」ために同会はZoomを使った飲み会、いわゆる「Zoom飲み会」を始めました。そして、Zoom飲み会で情報交換をするうちに、全国にある社会人落語会の中にオンライン寄席を開催している会があることを知ります。「ひとりでも稽古するだけではつまらない」と、無観客で寄席を配信する「越谷Zoom寄席」開催への模索を始めた同会。既に品薄状態となっていた飛まつ防止パネルの入手や寄席を配信するためのZoomの使い方など、越えなければならぬ壁はいくつかありましたが、7月に「第1回越谷Zoom寄席」を披露することができました。「全国の社会人落語会の中でも、オンライン配信の導入は早かったほうではないかと思えます。試行錯誤の連続でしたが、やっぱり「落語をやりたい」という、みんなの熱い思いが実現につながったのではないのでしょうか」と、道落亭かね平さんこと代表の金子芳夫さんは言います。

オンライン配信の メリットとデメリット

これまで近隣の落語ファンに向けて開催していた落語会ですが、オンライン配信を導入したことから「全国各地の落語ファンから反応が返ってくるようになった」と話す金子さん。取材をした「第3回越谷Zoom寄席」では、北海道から九州まで20名以上のオンライン



無観客でも出演者同士の感染を防ぐために飛まつ防止パネルを設置します

◀2面へ続く

越谷市演芸協会(越谷サンシティ落語研究会)

ン観覧者が、落語・腹話術・かっぱれを堪能していました。会員の中には、学生時代の落研仲間との交流が再開した人もいるそうです。また、遠隔地にいる出演者と本会場をつなぐ多元中継も（Zoom寄席）では試みられています。新たなつながりや手袋を生み出すことができるのは、オンライン配信の強みといえるでしょう。



（第3回越谷Zoom寄席）に出演参加した会員の皆さん

一方、会員の皆さんにはオンライン配信の弱点も見えるようになりました。安全を第一に無観客で行ってきたZoom寄席ですが、観客の反応がわからない中で演じることはとても難しく、達成感も得にくいのだそうです。さらに、これまで会場に足を運んでくれていた高齢のお客さまが、オンライン配信の導入により遠ざかってしまったことも残念だと金子さんは言います。

ハイブリッドをスタンダードに

取材の日、配信スタッフとして参

加した渡部久雄さんは「落語とオンライン配信の相性は意外といい。江戸時代から続く落語が、最先端の技術とつながっているのが面白いと思うんです」と話してくださいました。現在、同会が目指しているのは、会場とオンラインの両方で観覧できるハイブリッド型のZoom寄席。さまざまな事情で外出ができない方のために、新型コロナウイルスの終息後もオンライン配信は継続的にを行い、ハイブリッド開催をスタンダードなものにしていきたいと考えているそうです。

（2020年10月取材）

越谷市演芸協会(越谷サンシティ落語研究会)

HP: <https://koshigayarakugo.jimdofree.com/>
一緒に会を運営して下さる方や落語を演じたことのある方を募集しています(落語の指導は行っておりませんのでご了承ください)

今後の予定

日時
12月13日(日) 15:00~16:00
12月27日(日) 13:30~16:30
令和3年
2月7日(日) 12:00~16:30
2月27日(土) 13:00~16:30

会場
越谷市立図書館
男女共同参画支援センター(ほっと越谷)
越谷中央市民会館1階劇場
越谷市市民活動支援センター



※詳細が決まりしだいHPIに掲載します



「ホームページ見てね!」かね平会長と腹話術人形のロクちゃん

励ましレター

認定NPO法人子育て支援ワーカーズコレクティブみるく

認定NPO法人子育て支援ワーカーズコレクティブみるくが運営する「越谷市子育てサロン」つどいの広場 はぐはぐ(以下:はぐはぐ)は、就学前の乳幼児と保護者を対象に、サロンの開催やリトミック、季節の行事、わらべうたなどのさまざまな講座を行っています。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大で、市内の他の子育てサロンや児童館が休止したことにもない、はぐはぐも休所せざるを得なくなりました。

お母さんと子どもたちが笑顔に

6月までの外出自粛期間を、自宅で過ごされた方は多いのではないのでしょうか。代表の青木さんは、家から出られないお母さんや子どもたちのために何かできないかと会員のみなさんに相談したそうです。そして、「一緒にこの状況を乗り越えよう!」という気持ちを込めた「励ましレター」を送ることにしました。

1度目は4月。お母さんと子どもと一緒に遊ぶことができるようにと、「カエル」「ハートのメッセージボックス」「パクパク(パックンチョ)」の折り紙を手紙に添えて送りました。特にカエルの折り紙が好評だったそうで、子どもたちが喜んで遊んでいたという声をたくさんいただきました。

2度目は5月。「アマビエ」の着せ替えと「とんとん相撲」をプリントした紙を手紙と一緒に送り、お母さんと子どもと一緒に作業



励ましレターへのお礼のお手紙(一部)

お母さんも赤ちゃんも検温します

をしたあとに遊ぶことができるといってしました。手紙で返事をくれた子もいたそうで、そこには自分で考えた着せ替えの絵などが描いてあったそうです。

この励ましレターは、今年の1月と2月にはぐはぐを利用した133組の親子に送られました。自粛期間中は会員がはぐはぐに集まることも難しかったため、手分けして作り、各自が投函・発送まで行ったそうです。昨今、急速にオンラインの活用が広がっていますが、その中で、このような手作りの心温まる手紙と贈り物は、人とのつながりや温もりを感じさせてくれます。

はぐはぐのこれからの取り組み

青木さんは、コロナの状況下で外に出ることができず、孤独な子育てをしているお母さんがいないか、特に心配されています。まだまだ外出をするにも気が抜けない毎日では、はぐはぐが気軽に行ける場所に戻るには時間がかかりそうです。お母さんたちが安心して過ごせるように消毒・換気・検温など、感染防止対策を行っています。

もし、子育てで悩んでいたら、ひとりではないこと、相談できる場所があることを知ってほしいと青木さんは言います。今は配慮が必要になりますが、触れ合うことで子どもも大人も成長していく、そう考える子育て支援ワーカーズコレクティブみるくだからこそ、考え付いた励ましレターなのかもしれません。

（2020年9月取材）



越谷市子育てサロン つどいの広場 はぐはぐ
【運営】認定NPO法人 子育て支援ワーカーズコレクティブみるく
【住所】越谷市花田5-17-7
(越谷駅東口 朝日バス「花田小学校前」下車 徒歩3分)
【電話】080-2055-2092
【HP】<http://wco-milk.jimdo.com>
(広場の開催日はこちらからご確認ください)



消毒セットの貸し出しと換気

活動室ご利用時に消毒セットを貸し出し、ご利用後にはテーブルやイスなどの消毒にご協力いただいています。消毒セットは返却後、職員が毎回消毒しています。また、3密を避けるため、活動室のドアを開放し、換気機器をつけてご利用いただいています。



飛まつ防止パネルを設置

飛まつ感染防止のため、受付窓口にて飛まつ防止パネルを設置しています。



消毒済み札の設置

多目的スペースのテーブルに消毒済み札を置き、安心してご利用いただけるようにしています。消毒作業はご利用された方をお願いしています。



施設内の感染防止など

手の触れる部分（窓口のカウンター、利用者貸し出しパソコン、印刷機、ドアノブなど）の消毒を職員が定期的に行っています。また、職員についても勤務前に検温を行うなど、感染防止に努めています。



越谷市 市民活動支援センター の取り組み

新型コロナウイルス 感染防止対策の紹介

新型コロナウイルス感染拡大の中で、当センターを安心してご利用いただくために、さまざまな感染防止対策を行っています。さらに、それを踏まえた事業にも取り組んでいますのでご紹介します。
(2020年10月現在)

ソーシャルディスタンスの確保

密集・密接を避けるため、多目的スペースやパソコンコーナーはソーシャルディスタンスを確保した座席配置にしています。



事業の紹介

②インターネット 環境の整備

オンラインを活用した団体活動を支援するため、施設内にLANポートを増設しました（登録団体のみ利用可）。また、団体活動の支援の他、インターネット環境へのアクセスなどが困難な市内在住・在学の学生を支援するため、パソコンの貸し出しも行っています（2021年3月31日まで実施）。



事業の紹介 ①新たな事業

当センターでは、新型コロナウイルス感染拡大の状況にあっても団体活動が継続して行えるよう、登録団体の方を対象に「Zoomでオンライン会議を主催しよう!」を2020年6月3日に開催しました。さらに、団体内でのICT（情報通信技術）の積極的活用を支援するため「WEB会議ツール月いちオンライン練習会」を、8月から年度末まで毎月1回開催しています。

その他にもセンターの利用者が集まる会議では、感染に不安のある方も参加できるように、オンラインでの参加も取り入れました。また、公募型事業「ぼっぼひろば」「CaféTOMO」では、参加者や運営団体の方にも検温や手指の消毒、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保にご協力いただいています。



中央図書室より所蔵本のご案内

中央図書室に 本の除菌機を1台 設置しました

簡単な操作で、図書館(室)で
借りた本の除菌ができます

- ①扉をあけて本をひらき、バーを挟むように置きます。
※一度に単行本は4冊、絵本などの大きい本は2冊まで除菌することができます。



- ②扉をしめて、ボタンを押します。
- ③30秒から1分程度で除菌が完了します。



※ご自宅の本はご利用になれません



令和・アフターコロナの自治会・町内会運営ガイドブック こうして地域のリスクに備える!

水津 陽子 著 出版社 実業之日本社

新型コロナウイルスの感染拡大の収束が見えない中、さまざまな活動が制約を受けています。自治会・町内会の運営もまた、試行錯誤しながら取り組まれているかと思えます。自分たちにとって本当に必要な活動とは何か、どのような運営方法であれば新たな人や若者も参加してくれるか。この本には、共生コミュニティの先進事例が書かれています。原点に立ち戻り、考え、そしてアクションを起こすことが大切なかもしれません。これからの時代に合わせた自治会・町内会の在り方を見つけるヒントが詰まった一冊です。



遊び・会話・家事で今こそ「家族のコミュニケーション力」アップ 「新しい生活様式」で家族がもっと仲よくなるために

司馬 理英子 著 出版社 主婦の友社

本書では、新しい生活様式を通して、自分をコントロールする力を育て、やる気を持続するための子育ての戦略、家族の間でのコミュニケーションの力の伸ばし方について書かれています。私たちは現在、そして今後も状況に応じて、休校、在宅勤務、外出自粛を求められる可能性のある「新しい生活様式」の中で、多くの自由を制限されています。しかし、それは視点を変えれば、家族が家で濃密に過ごす機会ができたとも考えられます。この本には、機会の活かし方の提案がなされています。これからの時代をより有意義に過ごすための方法を見つけられるかもしれません。

観光物産情報

本のある蔵 靴屋

旧日光街道沿い越ヶ谷本町にある、築100年を越える味噌蔵が、2020年5月「本のある蔵靴屋」として生まれ変わりました。私設文庫の「Watage」が誰でも気軽に立ち寄れる「まちの居場所」として開き、水曜日と金曜日には週一回ずつの「蔵カフェkokochocho」(よつばカフェ)も営業しています。今号では、「Watage」の主人で靴屋全体の運営も担当する戸田道子さんにお話を伺いました。



靴屋の外観

「絵本のあるへや」で活動していたときは、名前の通り絵本のみを置いていたことから、お子さん連れの利用者が圧倒的に多かったそうです。しかし、はかり屋からの移転後は名前を「本のある蔵」とし、絵本以外の本も所蔵したことで、最近では年配の方も訪れてくださるようになりました。

「場」を開く」ということ

取材中も、靴屋にはお子さん連れから年配の方まで多くの方が訪れ、にぎわっていました。絵本が多いため、読み聞かせをする場所と思う方は多いようですが、本はあくまでも人が集まるきっかけであり、この場所ですごすためのツールのついでと考えている戸田さん。人と人がゆるくつながる場を開いている、という思いを持っています。今の様子を「靴屋」という場所を開いたことで生まれる、人と人のつながりを実感できる」と嬉しそうに話してくださいました。



靴屋を運営する戸田道子さん

「絵本のあるへや」から「本のある蔵」へ現在、500冊ほどの蔵書がある新生靴屋。所蔵されているのは、戸田さんが子どもの頃から所有していた本と、わが子のために購入した本。それらに加え、地域で子どもに関する活動をしていく中で「子どもたちに読んでほしい」「子育てをしているお母さんに知ってもらいたい」という目線から選んだ本が並んでいます。



和気あいあいとした雰囲気伝わってきます

「子どもも大人も、生きづらさを抱えている人もそうでない人も、誰にとっても居心地のいい場所にした」という思いのもとで運営されるこの場所は、どんな人もあたたかく迎えてくれます。みなさんも、足を運んでみてはいかがでしょうか。

〈問い合わせ〉
所在地:越谷市越ヶ谷本町3-29
越谷駅東口から徒歩10分
watage:090-5314-5500
日~火曜日/午前10時30分~午後6時
蔵カフェkokochocho:
水曜日/午前11時~午後5時
koujiya.kocho.kocho@gmail.com
よつばカフェ:090-3471-0443
金曜日/午前10時~午後4時
yumiyumi09140@gmail.com
定休日:木・土曜日



2階では定期開催のワークショップや鑑賞会、作品展が実施されています/取材時は山川和三氏の戦争体験記のイラスト原画展が行われていました

新規登録団体一言コメント

ヒッポファミリークラブ東越谷 ▶hippo.koshigaya.kasukabe@gmail.com
多言語・多文化・多様性に開かれた環境を仲間と創り楽しんでます。越谷しらこぼと基金助成金事業「楽しく学ぶ、世界がひろがる国際理解授業」(11月23日・28日開催)の準備を楽しんでいるところです。(佐藤直子さん)

Hello Smiley Day Project ▶hello.smileyday.p@gmail.com
SDGsをもっと身近に。今できることから皆様と一緒に活動して参りたいと思っております。(多田裕子さん)

PORTA della MUSICA ▶https://porta-della-musica.jimdosite.com/
団体名はイタリア語で「音楽の扉」を意味します。未来を担う子どもたちの健全育成の為に、音楽活動の場を作ることを目的としています。目指すはジュニアオーケストラの結成!ぜひHPをご覧ください。(小山純子さん)

越谷市赤十字奉仕団 ▶Eiji240jefsapo@outlook.jp
1999年設立。博愛・人道の精神に基づき、明るく住みよい社会に築きあげていくために必要な実際の事業(災害救護・保健衛生・社会福祉施設及び援護、等)に奉仕しています。(西尾英二さん)

編集後記

2020年を振り返ると、やはり新型コロナウイルスの影響が強く残ります。新型コロナウイルスの感染拡大により、さまざまな行動が制限され始めたころは、急激な変化に戸惑うこともありました。徐々に新しい生活様式に慣れてきたように感じます。また、オンラインツールの学習など、新しいことに挑戦できた年でもありました。ウィズコロナ時代においても、楽しさや気づきを見いだしながら、日々を過ごしていきたいです。(池田)

今号では、初めて取材へ行っており、自分で記事を書きました。前号の編集では校正作業にとまっていたので、今号は段違いに難しかったです。ページにするに当たって、このページの「機関紙」ななサポが担当した記事はその中のごく一部でしかなく、紙面をつくる難しさを実感しました。新型コロナウイルスが広がってから、もうすぐ1年になります。いまだに「これぞ」という治療薬もないまま、インフルエンザの流行も心配な時期になりました。今年の冬は、例年以上に手洗いうがいを心がけようと思います。(大野)

越谷市市民活動支援センター 今後の予定 ※詳細はセンターHPをご覧ください

12/20日(日)	10:30~11:30	子ども向けクリスマスイベント
	14:30~15:15	クリスマスコンサート

15日(月) 3/3日(水) 新派つるし雛inななサポ 市民による変わりつるし雛の展示

市民活動やボランティアに興味がある人、市民活動団体、企業等をつなぐ、きっかけ作りのイベントです

3分プレゼンで、つながる!

プレゼンしたい方
「こんな仲間・人材・支援を求めている」
「こんな団体・企業と協働したい」

プレゼンを聞いてみたい方
「市民活動・ボランティアに興味がある、はじめてみたい」

大募集!!

日時:2021年2月21日(日) 13:30~15:00
場所:会場(越谷市市民活動支援センター)、オンライン

対象:市民活動団体、地域貢献活動をしている企業、市民活動・ボランティアをはじめてみたい人、内容に関心のある方
申込・問合せ:越谷市市民活動支援センター

越谷市市民活動支援センターアクセスマップ



越谷市市民活動支援センターとは?
平成24年6月にオープンしたNPOをはじめとする公益活動を行う市民や団体、ボランティアなどを支援する施設です。指定管理者「アイル・オーエンスグループ」が管理運営しています。

編集:ななサポ編集チーム(大村、飯塚、池田、大野)
本紙は、越谷市市民活動支援センター登録団体および市民編集委員のみなさまにご協力いただき、編集・発行しています。

UD FONT 機関紙ななサポでは、見やすい読みやすいユニバーサルデザインフォントの一部を使用しています。

東武スカイツリーライン越谷駅下車東口徒歩1分
駐車場:東口駐車場(有料) 駐輪場:Aシティ地下(2時間まで無料)

広告

NESげんこつ
NEW EDUCATION SCHOOL

入室生募集

- ★放課後等デイサービス(NPO法人運営)
- ★学童保育
- ★フリースクール
- ★ゼミナール(学習支援)

★延長保育 ★新卒制度
★学校・ご自宅への送迎
★土曜・長期休みの利用
承っています。ご相談ください。

越谷市北越谷1-23-1
オリブハイ101
☎048-977-8996
hello@gennkotu.net
http://gennkotu.jp

特定非営利活動法人 あい合
社会福祉法人 てんけいえん 天恵園

身体・精神・知的障がいを持つ方とご家族の相談・お手伝いならおまかせ!

☎048-978-6449
越谷市大里729-1
○土・祝日もご相談できます。

困ったらココ!

東部地域障害センター・児童発達支援
重症児者サービス・保育所等訪問支援
放課後等デイサービス・グループホーム
生活介護・短期入所・日中一時支援
福祉用具販売・レンタル
福祉有償運送事業・相談支援事業
居宅介護事業・移動支援・生活サポート

http://www.npo-ai.com/

随時スタッフ募集中
短時間~OK! 保育施設完備!

広告募集

機関紙ななサポでは、越谷の市民活動を応援して下さる企業/団体様の広告を募集しております。掲載をご希望の方は越谷市市民活動支援センター「機関紙ななサポ広告担当」までお問い合わせください。